

補助金を交付するための予算計上であり、妥当と認めました。

○青島漁港施設整備として5858万円が計上されました。青島漁港において、漁業従事者の安全性および作業効率の向上、併せて、体験型旅行で漁業体験を行う方の安全性を向上させるため、岸壁に浮体式係船岸を整備する。また、老朽化した浮棧橋の改修を実施し、利用者の安全・安心な環境づくりに取り組むための予算計上であり、妥当と認めました。

○市民協働まちづくり事業として2千万円が計上されました。市が管理する市道や農道等について、利用される地域や市民団体が維持補修作業等の整備を行う際に、必要となる材料代等を補助するための予算計上であり、妥当と認めました。（令和6年度から市道整備分500万円の予算枠を拡充）

【議案】令和6年度松浦市工業団地造成事業特別会計予算について

○松浦市西部工業団地（仮称）造成事業として2億6298万8千円が計上されました。西九州道平戸インターチェンジに近接する御厨町大崎地区に約3万平方メートルの工業団地を造成するための予算計上であり、妥当と認めました。

その他各委員会の活動

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

令和5年12月5日に鷹島海底遺跡調査指導委員会・保存処理部会・船舶部会から議長宛てに「鷹島海底遺跡及び出土遺物保存・活用の未来に向けて」の意見書が提出されたことを受け、12月20日に委員会を開催し、意見書に対する市の対応策について説明を受けました。

意見書には、松浦市立埋蔵文化財センターガイダンスルームの展示室と同センターの収蔵施設、展示・公開施設における保存処理後の遺物の収蔵および展示・公開に関する現状と課題について書かれており、具体的には、温湿度管理を含む施設内環境が収蔵施設、展示・公開施設としては不適合であること。展示室が既に飽和状態であり、今後の保存処理を終えた資料を収蔵、展示・公開する余裕が全くないという内容で、その対応策として理事者からは、調湿機能のついた展示ケースの購入や同センター内の配置換え等を検討しているとの説明がありました。また、委員からは現地視察をすべきとの意見がありました。

このことを受け、令和6年1月22日に現在遺物が保存・展示してある埋蔵文化財センターと、今後遺物の保存・展示に鷹島モンゴル村を活用できないかという視点から同施設を視察しました。

今後、委員会として、この課題解決に向けた理事者の取り組みについて注視するとともに、理事者とも協議を行いながら、本委員会の活動を進めていきたいと考えています。

計 報

去る令和6年2月29日に谷口一星議員が逝去されました。

故谷口一星議員は、平成30年2月から令和6年2月までの6年間にわたり議員の職責を担われました。

その間、広報特別委員会委員長、総務委員会委員長などの職を歴任され、令和2年2月からの2年間は副議長として、また令和4年2月からの2年間は議長として、議会の円滑な運営と市政の発展に大きく寄与されました。

ここに、ご生前のご功績をたたえ、心からご冥福をお祈りいたします。

